

中部地方整備局への要望書提出



一般社団法人日本道路建設業協会及び同協会中部支部は、増永会長始め本部出席者6名と、青野支部長始め支部出席者4名で5月30日中部地方整備局に対し、道路整備に関する要望を行った。

この、要望書提出は平成27年度に引き続き、2回目となった。

まず、増永会長が茅野局長に要望書を提出し、冒頭、増永会長が整備局に日頃の協会活動にご理解いただいているとの御礼の挨拶があり、その後、要望書の主旨説明を横田副会長兼専務理事が行った。

【要望書内容】

1. 公共工事予算の安定的な確保
2. 道路の老朽化対策の推進と道路舗装メンテナンスの体系化
3. 道路建設業の担い手確保と現場における生産性革命(i-Construction)
4. 改正品確法に基づく発注関係事務の運用指針

その後、整備局から回答を頂き、主なポイントは、以下の通りであった。

要望1に対して⇒当初ベースでの増額を図り、安定的かつ持続的な予算確保

⇒平成28年度予算の前倒し発注

要望2に対して⇒舗装の定期点検要領の制定

⇒適切な道路舗装の維持修繕の計画的実施、予算の大幅回復

要望3に対して⇒若手、女性技術者の入職、定着、週休2日制

⇒舗装工へのICT活用、積算基準改定

要望4に対して⇒多様な入札制度(契約方式の選択、条件明示、業務の平準化)

要望に併せて、道建協は舗装の効率的な管理・更新に寄与していくことが必要であると考え、「舗装診断士」の資格創設を進めていきたいとの考えがある事を述べた。

最後に、茅野局長から「舗装の耐久性についての打ち換えの頻度をどうするかの問題点や、供用道路の改修に係る計画的な費用の事、メンテナンスの考え方等、モデルを作り管理計画を立て、安全・安心の体制で行きたい」とのまとめの挨拶があり、要望書提出での意見交換会を終了した。

◆出席者

〈整備局〉

局 長：茅野 牧夫
企 画 部 長：森山 誠二
道 路 部 長：小野寺 誠一
技術調整管理官：松田 正尚
道路情報管理官：柴山 智和
地域道路調整官：棚橋 真澄

〈整備局・事務局〉

技術管理課課長補佐：松本 康弘
技術管理課課長補佐：尾畑 伸之
技術管理課係長：吉見 直之
特定道路工事対策官：小幡 敏幸
道路工事課課長補佐：東野 竜哉
道路工事課係長：山岡 正和

〈道建協・本部〉

会 長：増永 修平
副 会 長：河江 芳久
副会長兼専務理事：横田 耕治
常 務 理 事：國澤 典生
参 与：小松 逸朗
調 査 部 長：秋山 均

〈道建協・支部〉

支 部 長：青野 俊弘
顧 問：對木 宏志
作 業 部 会 長：大場 重明
事 務 局 長：菊地 滋之



茅野局長・要望書提出・増永会長